

NPO法人
とくしまコウノトリ基金
活動レポート



ゆりかご

2021
Vol.2



non-profit organization tokushima stork fund...



NPO法人とくしまコウノトリ基金
理事長 熊谷 幸三

contents

- 1 コウノトリの現状
- 2 ナベヅルの越冬とコウノトリとの共存関係
- 4 STORK NEWS
- 6 コウノトリの餌場を増やすプロジェクト
- 8 地域を元気にするプロジェクト
- 9 賛助会員
ご支援・ご入会のお願い

「ゆりかごVol.2」の発刊にあたって

2020年7月から2021年6月までは、とくしまコウノトリ基金の第2期目の事業年度でした。新型コロナの影響で厳しい状況のなか、当基金の会員として継続していただいた皆様、また、新たに会員になってくださった皆様に、心より御礼申し上げます。

おかげさまで、減少を余儀なくされると予想した会員数は、わずかながらも増える結果となりました。

この1年、ピオトープの整備、ボランティアチームの活動、地元小学校での環境学習プログラムの提供、会員企業とのコラボによる商品の開発やエコツアーの試行など、いくつかの新たな取り組みをスタートさせました。

この小冊子は、それらの活動をご紹介します。誌面が少なく、私たちの活動を全てをお伝え出来ておりませんが、当基金へのご理解を深めていただけると幸いです。

7月から始まる第3期の年度でも、新しい活動に意欲的にチャレンジしてまいります。みなさまの一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

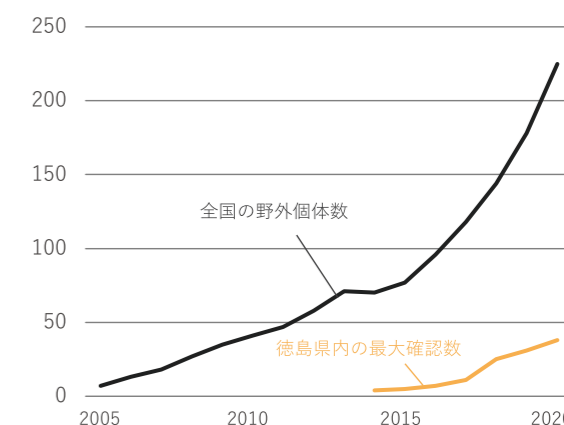
会員数 (2021年6月)
賛助会員 123 (団体93 個人30)
協力会員 63 正会員 11 計 197



野外個体数が増加

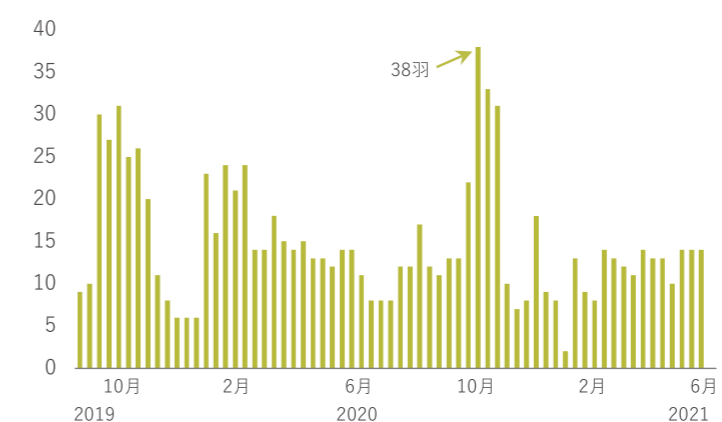
1971年に野生絶滅し、2005年に放鳥が始まってから25年となる2020年、コウノトリの野外個体は200羽を超えました。兵庫県立コウノトリの郷公園によると、2020年は7県の23の巣から54羽が巣立ちました。この中には2018年に鳴門で生まれたJ0181(メス；歌)が栃木県小山市で産み育てた2羽も含まれています。

2021年は、全国で繁殖するペアがさらに増え、野外個体数は300羽に近づきそうです。



※全国の個体数は兵庫県立コウノトリの郷公園のデータを使用

徳島県内の確認数



徳島県内に滞在するコウノトリの数の季節変動 (2019-2021)

徳島県内での確認数も増え、2020年秋には38羽を記録しました。しかし、繁殖している鳴門板東ペア以外の多くは満2歳以下の若い個体で、本州と四国を頻繁に行き来しています。このため、県内の生息数は年間を通して大きく変動しています。

徳島県内での繁殖

鳴門市では、J0044 (オス；ゆうひ) と J0480 (メス；あさひ) の「鳴門板東ペア」が2017年から連続して繁殖に成功しています。2021年も3羽が巣立ち、鳴門市で巣立ったコウノトリは累計14羽になりましたが、送電線への衝突事故などにより2020年までに5羽が死亡してしまいました。

「鳴門板東ペア」は、順調に野外繁殖をしています。県内で繁殖するペアはこの1ペアのみです。国内で最も南に位置し、本州以外では唯一の繁殖地であるこの地域を、より安定的な繁殖地にするためには、複数の繁殖ペアの形成が必要です。

鳴門生まれのコウノトリの近況 (2021年6月中旬時点)

生まれ年	個体番号	愛称	居場所等
2017	J0140	♂ 蓮 (れん)	2020年4月香川県で事故死
	J0141	♂ なる	板野郡松茂町 (2021年5月下旬に確認)
	J0142	♀ あさ	2018年2月鳴門市で事故死
2018	J0181	♀ 歌	2020年10月栃木県で事故死
	J0182	♀ 百 (もも)	不明 (2018年10月下旬に三重県で確認)
2019	J0223	♀ 藍	京都府福知山市 (2021年4月下旬に確認)
	J0224	♂ 令	2020年10月鳴門市で事故死
	J0225	♀ 和 (かず)	2020年10月京都府で事故死
2020	J0278	♂ 渦	京都府京丹後市 (2021年6月中旬に確認)
	J0279	♀ めい	滋賀県長浜市 (2021年6月中旬に確認)
	J0280	♂ 海 (かい)	京都府京丹後市 (2021年6月中旬に確認)
2021	J0346	♀ えがお	鳴門市
	J0347	♀ にじ	鳴門市
	J0348	♀ 花 (はな)	鳴門市



ナベヅルの越冬とコウノトリとの共存関係



絶滅危惧種のナベヅルは、かつて日本全国で越冬していましたが、現在は世界の生息数の9割もが鹿児島県で越冬しています。過度の集中による絶滅のリスクを減らすため、越冬地の分散化が進められています。

2020年11月から2021年3月にかけて、コウノトリの生息エリア内でナベヅル8羽が越冬しました。とくしまコウノトリ基金は日本野鳥の会徳島県支部と合同でナベヅルの調査を行いました。この調査により、ナベヅルの行動だけでなく、これまで知られていなかったナベヅルとコウノトリとの関係性の一端が見えてきました。

● ナベヅルの越冬を初めて確認

2020年11月上旬、コウノトリの鳴門板東ペアの主要行動圏内で4羽のナベヅルが観察され、その後個体の入れ替わりや数の増減がありました。11月下旬以降は8羽になり、1羽が2021年3月12日に死亡し、7羽が3月17日まで滞在しました。この地域でのナベヅルの越冬の確認は初めてです。

8羽は、昼間は4羽ずつのグループ（A及びB）に分かれて異なる場所で採餌することが多く、夕方には合流し、吉野川などでねぐらを共にしていました。採餌場は、Aグループは飛来時から飛去するまで鳴門板東ペアの巣の近く、Bグループは阿南市・小松島市でしたが、12月下旬以降はBグループも鳴門板東ペアの主要行動圏内で採餌していました。



吉野川のねぐら



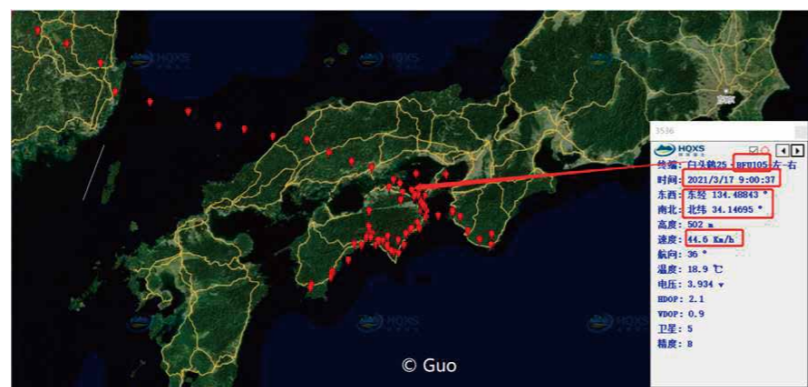
稲田で採餌（北帰行前にA、B両グループが合流）

● 鳴門から中国への北帰行ルート

Bグループのうちの1羽には中国の北京林業大学のグオ博士によって発信器が装着されており、鹿児島県の「出水市ツル博物館クレインパークいずみ」のご協力によりそのデータを入手できました。

この個体は私たちの調査どおり3月17日朝、吉野川のねぐらを飛び立ったのち、鳴門から朝鮮半島まで最短ルートで向かい、グオ博士によると19日昼過ぎには中国へ入ったそうです。

ナベヅルの渡りのルートは、九州北部経由がメインとされていますが、全く異なるルートをとったことが分かりました。



北京林業大学グオ博士提供



Bグループ（左端が発信器付きの個体）



● ナベヅルがコウノトリを頼る？

越冬した8羽の採餌場は、Aグループは鳴門板東ペアの巣から1km以内、Bグループも3km以内の稲田ですが、この一帯はレンコン畑と稲作水田が混在しているエリアです。ナベヅルの主な餌はイネの落穂や2番穂のため、広い稲作地帯が適していると考えられます。

この近くにもっと広い稲作地帯があるにもかかわらず、8羽が越冬の地としてこのエリア（鳴門板東ペアの主要行動圏）を選んだのは、見知らぬ土地で最強の鳥類であるコウノトリを頼ったことを示唆しているように思えます。また、コウノトリは自分の行動圏、特に巣に接近したほかのコウノトリに対しては追い払い行動をしますが、ナベヅルに対してはとても寛容です。

動物食のコウノトリと、冬季は主に植物食であるナベヅルは、餌が競合しないことも、共存できる要因だと考えられます。



鳴門板東ペアの巣が見える場所で採餌するAグループの2羽。巣には鳴門板東ペアがいる（○で囲んだ場所）

● コウノトリがナベヅルに引きつけられる？

- 右と下の写真は、越冬中のナベヅルの群が、
- ①高く舞い上がっている（北帰行前の行動か？）
- ②採餌後に休んでいる
- ③ねぐらをとっている

ところへ、いずれも若いコウノトリのグループがやって来て合流しました。若いコウノトリたちは、自分たちに似た大きな鳥に興味を持ち、引きつけられるようです。





巣立ち直後のJ0348 2021年6月8日

足環装着



2021年5月13日、足環装着プロジェクトチームが、孵化後41日目の3羽のひなに足環を装着。2017年以来5回目となる今回は初めて大型の高所作業車を使用しました。コウノトリ基金は、装着のための調査、情報の収集分析、機材調達、技術研修などを担当しています。

ひなの個別データ					
個体番号	性別	足環		体重(g) 5月13日計測	愛称
		右	左		
J0346	メス			3,925	えがお
J0347	メス			3,410	にじ
J0348	メス			3,635	花(はな)

今年は堀江南小学校の児童が雛の愛称をつけてくれました。



巣立ち

2021年6月8日にJ0348メス(花;はな)、6月10日にJ0346メス(えがお)、J0347メス(にじ)が巣立ちました。

4月2日の孵化推定からJ0348が67日、J0346とJ0347が69日で、これまでの最短記録70日を更新しました。

堀江北小学校での環境学習

2021年4月から鳴門市堀江北小学校の4年生にコウノトリやその生息域の環境を学んでもらえるような授業を行っています。「コウノトリ」「トンボ」「淡水魚」「カエル」をテーマに実施しています。



まずは教室で学び、



次に外に出て採集!



そして、捕まえた生き物について解説を聞きます。

コウノトリ普及活動

コウノトリのこと、基金の活動を知っていただくために、徳島河川国道事務所と共同でパネル展示などを行っています。



徳島県庁のロビーに展示したはくせい



徳島あわおどり空港に展示



あいさい広場でははくせいも登場!



あすたむらんどでの活動紹介パネル展示

売上からご寄付をいただいている商品

「れんこんカレー」 「薬膳粥」
NPO法人れんこん研究会

「古代蓮茶」
株式会社Braveはな薬局

「はばたき866」
有限会社 丸善商店

「コウノトリおもてなしれんこん」
JA徳島北特別栽培部会
こうのとり農産同業会

コウノトリのお酒「朝と夕」
本家松浦酒造場

これらの商品は、コウノトリを守るための資金として売上金の一部をご寄付していただいております。

とくしまマルシェに出展

2020年11月29日、とくしまマルシェにJA徳島北、本家松浦酒造場、小さな地域商社スイミーなど連携団体が出店し盛り上げました。同時にコウノトリの巣づくりワークショップを行い、展示スペースではコウノトリを紹介するパネルやさわれるコウノトリのはくせいも登場し、たくさんの方々に楽しんでもらえました。



2つの賞を受賞



徳島新聞賞の特別賞と地域再生大賞の優秀賞(同実行委員会)をいただきました。皆様に支えられて受賞することができました。ありがとうございます。



コウノトリの餌場を増やすプロジェクト



ビオトープ整備

2020年度から2021年度にかけて、鳴門市大麻町東部を中心に耕作放棄地を再生してビオトープの整備を進めています。川淵地区の鳴門市所有地は、2021年3月30日に鳴門市と協定を締結し、当基金が整備し、完成後は鳴門市が管理・運営します。



鳴門市長と協定を締結



川淵地区
(鳴門市所有地)

2021年5月21日 整備中

※公益信託サントリー世界愛鳥基金助成事業の助成を受けています



帆崎地区

2021年5月28日 整備中

※一般財団法人日垂ふるさと振興財団の助成を受けています



重機を使った除草作業



魚道づくり



整備中にやって来たけど、まだ水生動物がいないので...



昨年整備したJA徳島北前のビオトープで採餌。定着してくれるかな。



れんこんとコウノトリ

化学農薬の使用量が少なく、ほぼ一年中、浅く水を張って管理するレンコン畑は、餌となる水生動物が豊富で、かつ餌を取りやすく、コウノトリにとって最高の餌場です。しかし、夏にはレンコンの茎や葉で覆われてしまうため、餌が取りにくくなります。そこで、夏でも餌が取りやすいビオトープの整備を進めています。

生き物調査

徳島大学と連携して、ビオトープやその周辺で動植物の調査を実施しており、希少な種も確認されています。また、調査結果をもとにコウノトリの生息エリアで見られるトンボと魚の図鑑を作る予定です。

確認された希少種	
植物	サデクサ 徳島県：準絶滅危惧
	ヒメミズワラビ 徳島県：準絶滅危惧
	ミズアオイ 環境省：準絶滅危惧 徳島県：絶滅危惧ⅠB類
動物	ミナミメダカ 環境省：絶滅危惧Ⅱ類 徳島県：絶滅危惧Ⅱ類
	ドジョウ 環境省：準絶滅危惧 徳島県：絶滅危惧Ⅱ類
	トノサマガエル 環境省：準絶滅危惧 徳島県：絶滅危惧ⅠB類



群生するミズアオイ

水生動物を増やす



産卵床についた卵

孵化した稚魚



ビオトープに稚魚を放流

ビオトープに設置した魚道

コウノトリの生息域は、かつて大雨の時には川や水路の水位が上昇し田畑と繋がっていましたが、河川整備が進んだことによりその繋がりが減り水生動物の暮らせる環境も減りました。繋がりを再生するため魚道を設置したり、魚道が設置できない場合は、近くで採取した卵や孵化させた稚魚をビオトープに入れたりして水生動物を増やす実証実験を行っています。



ボランティアチーム「クレイドル」結成

コウノトリ基金の活動を手伝ってくださるボランティアチーム「クレイドル(英語で“ゆりかご”の意味)」を2020年8月に立ち上げました。ビオトープの整備や産卵床づくり、調査用のトラップづくりだけでなく、生物多様性への関心や理解を広めるため、2021年2月から定期的に専門家をお呼びして勉強会(ストークの会)を行っております。クレイドルのメンバーを募集しています。



クレイドルのメンバーのボロシャツもできました♪

※これらの調査や実証実験はトヨタ環境活動助成プログラムの支援を受けています。



2020年春
「ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト」は始動しました。
“あさひ”と“ゆうひ”というコウノトリのペアが
子育てする巣の近くで、餌となる田んぼの生き物を
増やす技術の実証実験をしながら特別な栽培方法
(化学農薬、化学肥料の使用量が当地比5割減)で生産し
収穫したお米で日本酒をつくり、その売上の一部がコウノトリの
野生復帰を応援する活動に使われるプロジェクトです。
農家さんをはじめ、地元の企業、行政、住民の方など
たくさんの人が協力し、進められています。

ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト

昨年からはまったこのプロジェクト。ビオトープ米を使い、地元の自家松浦酒造場が日本酒にして販売。お酒は鳴門で子育てしている“あさひ”と“ゆうひ”から「朝と夕(あさとゆう)」と名付けられ、売上金の一部をコウノトリの保全活動にご寄付いただきました。

今年も来年の販売に向け、6月1日と10日に田植えを行いました。昨年よりも田んぼの面積を増やし、品種を“ハナエチゼン”から“アケボノ”に変更。お酒にする際も精米歩合を70%から80%に変更し大切に育てたお米をなるべく削らない、より環境のことを考えたお酒になる予定です。また違った味わいの「朝と夕」になるので楽しみにお待ちください。

一度は日本の空から消えてしまったコウノトリが、安心して暮らせると選んだ豊かな自然を生かしてつくられたものから地元を彩る商品ができ、さらに自然を守る活動が続いていく。そんな循環を築いていきます。

※このプロジェクトは一般財団法人日垂ふるさと振興財団の支援を受けています。



エコツアー

地域の自然や産業、文化を活用したエコツアーのビジネスモデルづくりを目指します。2020年12月にはコウノトリの生息域を自転車で巡るモニターツアーと、大谷川をカヌーでゆっくり下りながら自然を学ぶモニターツアーを行いました。

※この取組は環境省の地域循環共生圏事業の支援を受けています。



カヌーモニターツアー

自転車モニターツアー



(2021年6月末時点)
* 入会順、敬称略

企業・団体

- | | | |
|------------------|-----------------|----------------------|
| 徳島北農業協同組合 | 大津松茂農業協同組合 | 徳島県危機管理環境部 |
| 大久保産業株式会社 | 新風とくしま | 株式会社阿波銀行 |
| 公益財団法人とくしま産業振興機構 | 一般社団法人徳島新聞社 | 四国放送株式会社 |
| 一般財団法人徳島県観光協会 | 徳島商工会議所 | JA徳島中央会 |
| JA全農とくしま | JAバンク徳島信連 | JA共済連徳島 |
| JA徳島厚生連 | 四国建設コンサルタント株式会社 | 一般社団法人徳島県建設業協会 |
| 徳島県土地改良事業団体連合会 | 株式会社松本コンサルタント | 徳島市農業協同組合 |
| 国立大学法人徳島大学 | 阿波観光ホテル | 菊池産業株式会社 |
| 株式会社フジタ建設コンサルタント | 健祥会グループ | 株式会社徳島大正銀行 |
| 社会医療法人川島会 | コウノトリ定着推進連絡協議会 | 株式会社マルハ物産 |
| 徳島信用金庫 | 日本野鳥の会徳島県支部 | 徳島県経営者協会 |
| 社会福祉法人白寿会 | ニタコンサルタント株式会社 | 喜多機械産業株式会社 |
| 株式会社姫野組 | 株式会社ネオビエント | 公益財団法人徳島県労働者福祉ネットワーク |
| 四国高速運輸株式会社 | 四国電力株式会社徳島支店 | 四国電力送配電株式会社徳島支社 |
| 斎徳株式会社 | 一般社団法人徳島県労働福祉会館 | 株式会社エコー建設コンサルタント |
| 株式会社ヨシミ | 有限会社丸喜商店 | 有限会社八木土建 |
| 公益社団法人徳島県物産協会 | 徳農種苗株式会社 | 株式会社寺内製作所 |
| 医療法人倚山会田岡病院 | 総合ビル・メンテム株式会社 | 徳島県医師会 |
| 株式会社徳島四国ダイケン | 株式会社アルボレックス | 東海運株式会社 |
| 大利木材株式会社 | 徳島県漁業協同組合連合会 | 四国大学 |
| 森田緑化株式会社 | 徳島トヨペット株式会社 | 板野郡農業協同組合 |
| 恵愛レディースクリニック | 赤松土建株式会社 | 光設計株式会社 |
| 富田製薬株式会社 | 徳島県建設業協会鳴門支部 | 株式会社テレビ鳴門 |
| 一般社団法人徳島経済同友会 | 株式会社イルローザ | 四国旅客鉄道株式会社徳島企画部 |
| 井上建設株式会社 | 株式会社中岸商店 | 野田ハニー食品工業株式会社 |
| 徳島県森林組合連合会 | 株式会社徳松 | ケーブルテレビ徳島株式会社 |
| 国立大学法人鳴門教育大学 | 東とくしま農業協同組合 | 徳島製材団地協同組合 |
| 株式会社三木組 | 有限会社吉本商店 | 四国化工機株式会社 |
| NPO法人生活楽校 学びの社 | 株式会社自家松浦酒造場 | 株式会社Brave はな薬局 |
| 有限会社ジャンプ工業 | 株式会社コープ有機 | 生活協同組合コープ自然派しこく |

個人

- | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 布川 洋之 | 安井 俊之 | 戸田 文博 | 小笠原 章 | 八尾 和樹 | 仲田 優晴 | 北岡 和義 | 梶川 寿幸 | 熊谷 美智子 |
| 藤原 学 | 阿部 徳男 | 西村 宏昭 | 西村 耕世 | 西村 秀美 | 河田 ひろみ | 小林 正美 | 吉田 一郎 | 蓮見 澄 |
| 十川 勝幸 | 妹尾 美加 | 森 裕二 | 小澤 俊樹 | | | | | |

ご寄付有難うございました

5ページでご紹介している商品売上からのご寄付以外に次の団体・個人の方から機材やお金のご寄付をいただきました。

大久保産業株式会社様 河内 悟様(神奈川県)

SNS 配信しています



ご支援、ご入会をお願いします

NPO法人とくしま コウノトリ基金は、たくさんの個人や企業、団体の皆様の支えがあって、活動を展開することができます。賛助会員、協力会員としてご参加いただき、ご支援をお願いいたします。



入会方法など
とくしまコウノトリ基金HP



特定非営利活動法人

とくしまコウノトリ基金

Non-Profit Organization Tokushima Stork Fund

〒771-0203 徳島県板野郡北島町中村字岸ノ上 1-288

TEL.090-2825-6721 E-mail info@t-stork.jp

<https://www.t-stork.jp>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT  GOALS